

共生・公正・創造



ユニオン・EYE

<http://www1a.biglobe.ne.jp/jrtu-EWU>

ジェイアール東日本労働組合
〒108-0014 東京都港区芝5丁目33番36号
TEL(NTT)03-3453-2107 (JR)057-2290
発行者/今井 伸 編集者/平 憲治

JR東日本で働くすべての労働者の皆さんへ！

職場討議資料

JR連合「あるべき労働組合像・労使関係像」

JR連合は2月の中央委員会の民主化方針で、「あるべき労組像・労使関係像」の職場討議資料を提起し、今後、民主化機材として積極活用していくこととしました。この間、JR連合が取り組んできた被害者救済運動の成果により、JR総連運動の異常性が内外に明らかになりつつあります。JR東日本で働くすべての労働者の皆さん、ぜひこの職場討議資料を読んで、労働組合や労使関係のあるべき姿と一緒に考えましょう。JR東日本ユニオンは、このアイデンティティを目指しています。

わが国における労働組合の存在意義
労働組合が果たすべき役割
私たちが求める労使関係
あるべき労働組合・労使関係をJRに築くために

第20回 あるべき労働組合・JR連合の運動

【グループ労組や契約社員の仲間の地位向上にむけた取り組み】

JR連合はJR各社に対応した7組合（約60,000名）と、75のグループ労組（約16,000名）で構成されています。また、JR7組合だけでも契約社員の組合員約3,000名を組織しています。私たちは、JRで働く仲間の連帯を深め、雇用や労働条件の向上をはかるため、JRグループ企業や契約社組織化にも精力的に取り組んでいます。そして、グループ労組の賃金や労働条件の引き上げと地位の向上を目指して、きめ細かな取り組みを進めています。春季生活闘争にむけ、毎年、全組合員を対象に賃金実態調査を行い、組合ごとの賃金カーブや賃金水準を分析し、各産業のデータと比較しながら目標を定め、交渉の戦略を決めています。また、グループ各社の労使を訪問し、職場実態の把握に努めるとともに、経営側にJR連合の方針への理解を深めるための「グループ総対話行動」も展開中です。安全の取り組みにおいても、「すべてのJR関係労働者の死亡事故・重大労災ゼロ」をテーマに掲げ、協力会社の社員を含めた事故の撲滅にむけて取り組んでいるところです。契約社員については、当初から組合員化に取り組み、処遇改善や正社員化制度の創設などを進め、大きな成果を収めてきています。

